

魔法使いの嫁 第1期 第12話

タイトル: Better to ask the way than go astray.

キャラ リスト:

羽鳥 チセ、エリアス・エインズワース、ルツ、リンデル、ネヴィン、妖精たち、チセ (小)、羽鳥 智花、羽鳥 夕輝

Japanese script from unknown translator (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

エリアス (考え) 何もする気が起きない。

 (考え) 夏だし、やることはいろいろあるはずなんだけど…。

 (考え) 見せかけの弟子でよかった。

 (考え) だから適当に買って、適当に観察して…それだけでいいと思って…。

 (考え) 珍しい質のその子は、意外にも素直に僕に懐いてくれた。

 (考え) でも…彼女はあまりしゃべらない。

 (考え) それを見ると、説明できない感覚が2つ、湧き上がる。

チセ エリアス…。

 寝てた…。

 あつ…。

 出来てた…？

リンデル 出来たか？

チセ うわっ！リンデルさん…。

リンデル ならば、仕上げをしようかのう。

眠くなるのは、知らず知らず魔力を使っておるからだ。

だから我々が作るものには、魔力がこもるのよ。

本来ならば、こういうことはエインズワースが教えるべきなんだがのう。

チセ 私が聞けないのが悪いんです。

面倒かけたくなくて…。

いたっ…。

リンデル ひよっこの世話なんぞ。面倒のうちにも入らんわ。

わしなどあれに何度手を焼かされたか？

何年たってもスキーは下手だし、スープも焦がす。力加減も覚えんし、火すら満足に扱えんし…。

チセのほうがよほど覚えがよくて器用だ。

チセ アハハハ…。

リンデル そもそも、あの骨はい…。

リンデル さて…おぬしの髪とこれ。

チセ 宝石？

リンデル かなり前に知人にもらったものだ。

湖の底で千年、月の光と日の光を浴びた石だそうだ。

チセ (考え) 光ってる…。

リンデル 淡いが、足元を照らすしるべくらいにはなるだろう。

少し装いに回させてもらった。

きれいな夕日の色をしているからのう。

これがおぬしの杖だ。大事にしやれよ。

チセ はい…。

うっ…！

あっ…。

ここは…？

ネヴィン やあ。

チセ あっ…。

ネヴィン 久しぶりだね、小さな魔法使い。

チセ あなたは…！

ネヴィン 私の枝を杖にしてくれてありがとう。

チセ 大事に使います。

ここはどこですか？どうしてここに…？

ネヴィン 杖によって、君と私に縁の糸が結ばれたから。

チセ 縁の糸？

ネヴィン ここは境目。旅人と旅を終えた者、あちら側の者、こちら側の者、決して交わらぬ者が交錯を許される道。

君の目にはこう見えるのか。美しい道だ。

チセ あなたの目には違って見えるんですか？

ネヴィン 私は既に亡き者。よく見える君の目に頼っているのさ。

君はいつも浮かない顔をしているね、チセ。

どうかな？

チセ あっ…。

ネヴィン ここは老いぼれしかいない。

独り言でも吐き出してみては？

チセ 私は…欲張りになっちゃった。

最初は、いつ放り出されてもいいやって思ってたはずで…。

だから頼らないようにしてて…。

あのヒトが私のことどうとも思っていないから、安心できて…。

家族だって、見せかけでも言ってくれたから。

でも…いつの間にかエアラスが…あのヒトが話してくれないのが不満になって…さみしくて、怖くて…。

なんで興味がないままでいらなかったのかな？

そうすれば多分不満なんて持たなくてよくて…いつ放り出されても諦められたはずなのに…。

ネヴィン 独り言に返すのは不粋なのだけだね？

君のエアラスは、突然に君を放り出すなんてことをするヒトなのかい？

チセ あっ…。

ネヴィン そんなことを言ったりしたのかい？

チセ ううん…。

ネヴィン チセが恐れることが一度だって起こったことが？

チセ ない…。

ネヴィン なら天が落ちこちる心配をするようなことは、やめなさい。

チセ でも…今はよくても気が変わるかもしれない。

私なんか、すぐ飽きられるかもしれない。

あのヒトも…いらなくなったらきっと…。

ネヴィン 私も独り言を話そうか？

私はチセの母君と父君に感謝をしている。

チセ えっ...？

ネヴィン 己が生きるのに厳しいとき、獣の親は子を見捨てたり、殺したりする。

生き残りさえすればまた次の子を産めるからだ。

でも、チセの母はチセの首から手を離した。

どうしてだろう？

チセ んっ...。

ネヴィン どうしてそのままチセを手になけなかった？

産まなければよかったと泣いておいて、どうして己を絶ったんだろう？

チセ 分からない...そんなの...。

ネヴィン 私は...チセが来てくれたおかげで、最期に空を飛べた。

チセのおかげで救われた人や獣たちがいた。

チセがおいでと言ったおかげで、救われた子もいる。

己をほいほいと捨てられるものみたいな、そんなふうに低く見るということは、君に救われた我々を、どうでもいいものと言ってるのと同じだよ。

チセ ハッ...そんなこと...！ あっ...。

私は...でも...そうしようと思ってやったわけでもないのに...。

ネヴィン たとえそうでもね。ほんのわずかな言葉や手のひらが、誰かを救うこともあるんだよ。

だから私は、君に己を誇ってほしいと思っている。

誰かに手を差し伸べることができた、君自身を。

チセ あっ...。

ネヴィン そして、そんな君を残した母君と父君に、感謝している。

チセ ネヴィン…。

ネヴィン 名を呼んでくれるのかい？ありがとう。

 リンデルにもらったすてきな名なんだ。

 羽鳥チセ…。

チセ あっ…。

ネヴィン 君は自由だ。

 君が呪いを抱えて生きても、その末にいつか堕ちても、全ては君の自由なんだ。

 だから、誰かのためでなく、君自身がどうしたいかを考えてほしい。

チセ ハッ…！

ネヴィン その杖は私の杖。

 どこにいても、君の行く道を照らす。

 君は、どこにでも行けるんだ。

 私も、リンデルも、あの茨の子も…何もかもがつながっていて、全ては等しくここへ戻り、また旅に出る。

チセ ネヴィ…。

ネヴィン しばしのお別れだ。

 そうそう。言いたいことも聞きたいこともすぐ言葉にしたほうがいい。

 言葉は時がたつほどに熟れていくが、色を失っていくものでもあるからね…。

リンデル チセ。

チセ ハッ…。

リンデル チセ？ぼうっとしておったようだが、大丈夫か？

チセ ネヴィンに…会いました。

リンデル ネヴィンに？

おっ？

チセ 杖と寝床をありがとうございました。

すぐに帰らなければならなくなったので、帰ります。

お礼はまた今度させてください。

リンデル それはいいが、どうした？いきなり。

おっ？

フツ…。

チセ エリアスに伝えたいことがあるので。

せっかく背中を押してもらったので、頑張ってみようかと思って…。

リンデル そうか？ではグイーを呼んでこよう。

チセ ルツ！

リンデル チセ？

チセ (考え) どこにでも行ける。全てはつながっている。なら…。

お願い。あのヒトの所へ…つないで。

妖精たち 行くの？

飛ぶんだ！

助けてあげる！

貸してあげる！

飛んでいこう！

世界を巡る炎の翼で！

チセ 翼で…。

リンデル あっ...！

いやはや...おとなしい娘と思っていたが、もしかするとクズリかもしれんな。

エリアス チセ...。

チセ ほ...本当はエリアスみたく帰ってくるはずだったんですけど、妖精たちが...。

え...えっと、杖が出来たから早く帰ろうと思って、ちゃんと助けてもらって魔法を使えました。

ほら？ちゃんとリンデルさんにも仕上げをしてもら...。

ハッ...。

エリアス ホント、結構むちゃなことするよね？君。

おかえり、チセ。

チセ ただいま帰りました、エリアス。

うっ...。

エリアス やっぱり！ドラゴンの国からどれだけあると思ってるのさ。

魔法で飛ぶなんて、バカにも程があるよ。

チセ (考え) バカ...。

杖もあるし、大丈夫かと...。

エリアス いいからひと眠りしな。

チセ (考え) 早く...

あっ...。

(考え) ... 言いたいことが...あるのに...。

エリアス ぬくいなあ。

チセ (小) お母さん。お母さん。怖いのがいる。

智花 そうね。

 だけど怖がっちゃダメよ。

 怖がったらもっと寄ってきちゃうから。

チセ (小) でも怖い…。

 わっ！

夕輝 大丈夫。お父さんがいれば寄ってこない。

チセ (小) うん！

智花 そう言ってあなた、最初は腰抜かしたじゃないの？

夕輝 うるせえ！

智花 チセはもうお姉ちゃんだからできるよね？

チセ (小) うん…。

智花 フフッ。偉いね、チセ。

チセ (小) へへ！

智花 偉いね…。

チセ 夢…。

 お母さん、泣いてなかった。怒ってもなかった。

 あんなこと、あったんだな…。

 あっ…。

 あっ…！

ルツ おはよう、チセ。

チセ ルツ。おはよう…。

 これ何事？

ルツ ああ、大変だな。

早く散らばってくれないと、追いかけたくなる。

チセ あっ...そっち？

ルツ 悪くない夢を見ていたみたいだな。

チセ うん。

おはよう、シルキー。

エリアス チセ！

チセ あっ...。

エリアス おはよう。

チセ おはようございます、エリアス。

エリアス 2日で目が覚めてくれて助かったよ。

チセ これは？

エリアス 毛刈りの時期だ。

チセ (考え) 不思議だな。

(考え) 少し前までは、自分がこんな温かい場所にいることなんて、想像もできなかったのに...。

(考え) だけど...今は...。

エリアス チセ。

チセ は〜い！

おいしい。